



CONCERT MARIMBAS

YM-5104A/5100A/4900A/4600A

取扱説明書

Owner's Manual

Руководство пользователя

使用手册

사용설명서

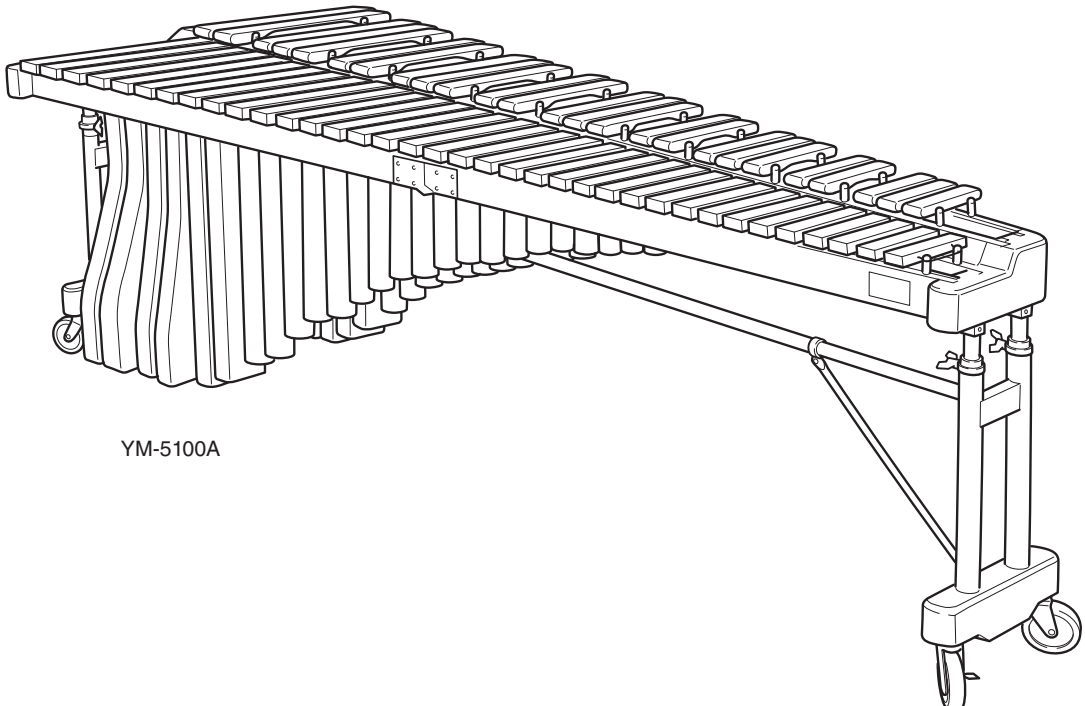
『安全上のご注意』および『ガススプリング取り扱いに関する注意事項』を必ずお読みください。

Make sure to read "Precautions for Handling Gas Spring" and "Precautions."

Обязательно прочтите разделы "ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ ПРИ ОБРАЩЕНИИ С ПНЕВМАТИЧЕСКОЙ ПРУЖИНОЙ" и "МЕРЫ ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ".

务请阅读“气弹簧操作注意事项”和“注意事项”。

"가스 스프링 취급상의 주의사항" 및 "주의사항" 을 반드시 읽어 주십시오 .



YM-5100A

日本語

English

Русский

中文

한국어

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。


■ 「警告」と「注意」について


以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。


警告


設置


 楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。


 楽器を移動するとき以外は、必ずキャスターのストッパーを左右2ヶ所ともかけてください。
楽器が移動したり倒れたりして、けがの原因となります。

取り扱い


 キャスターや高さ調節部のすき間などの可動部分には、絶対に手や足を入れないでください。
はさまれて大けがをするおそれがあります。

 楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。
楽器が倒れて、大けがをすることがあります。

 楽器のまわりで遊ばないでください。
身体をぶつけてけがをするおそれがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。

 地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒するおそれがあります。
地震の際は楽器に近づかないようにしてください。

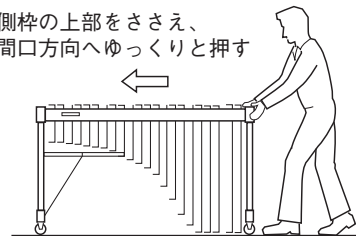
移動


 キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でのみ行なってください。
側枠の上部をささえ、間口の方向へゆっくりと押ししてください。

キャスターを利用して移動する時には

- 傾いた所や凸凹のある道、じゃり道は避けてください。
楽器が倒れたり暴走したりして危険です。
- 走らないでください。楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどして大けがをすることがあります。
- 持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運んでください。長枠を持つと外れて落下転倒の危険があります。側枠以外は絶対に持って運ばないでください。


側枠の上部をささえ、
間口方向へゆっくりと押す




 楽器を組み立てた状態で、階段の登り降りをして運ばないでください。
部品が落下したり、バランスを崩して倒れたりして危険です。必ず分解した状態で運んでください。

注意

組立


 分解 / 組立の手順は、必ず本取扱説明書 7 ~ 13 ページの「組立手順」の通りに 2 人以上で行なってください。

誤った手順で組み立てると、パイプが落下し、けがの原因となったり、機能が十分に働かなかったり、雑音発生の原因になったりします。

 脚部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。

ゆるんだ状態で使用すると演奏中に楽器がずれたり、雑音が出たり、トラブルの原因になります。またこれらのネジは時々締め直してお使いください。


設置


 次の場所では使用しないでください。梱包されたままであっても同様です。


調律が狂う原因となります。


- ・ 窓際などの直射日光の当たる場所や、日中の車内、暖房機具のそばなど、極端に温度が高い場所
- ・ 湿気やホコリの多い場所
- ・ 振動の多い場所


取り扱い


 楽器の上にものをのせないでください。
音板や枠を傷める原因となります。


 割れた音板はすみやかに交換してください。
音板の割れ目は鋭利ですから、手などを切る危険があります。


 頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。
移動前後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。

 マレットは演奏目的以外には使用しないでください。
けがや事故の原因となります。お子様が人の身体を叩いたり、口に入れたり、危険な行為をしないように注意してください。


 音板を硬質のマレットや、その他の硬いものでたたかないでください。
音板にへこみやキズができたり、音律が狂う原因ともなります。


 硬質マレットによる超強打は避けてください。
音板が割れたりすることがあります。


 組み立て時、手を挟まないよう、注意してください。
特に長枠、共鳴パイプのセット時には、2 人で確認しながら作業してください。

 音板のお手入れには、乾いた柔らかい布やシリコンクロスをご使用ください。
シンナーやベンジン、濡れぞうきんなどは絶対に使わないでください。
音板の表面塗装を侵すなど、楽器を傷める原因となります。

移動

 移動の際にはキャスターのストッパーが解除されていることを確認してください。また、平らな床面以外では、少し持ち上げるようにしてください。
安定して移動することができます。

 車で運ぶ場合は、お買い上げ時の状態 (6 ページ参照) まで分解し、しっかり梱包してください。
はだかのまま移動すると、楽器が傷つく原因となります。分解は、組立と逆の手順で行なってください。

 移動の際は、ていねいに取り扱い、決して落としたり、投げたりしないでください。
楽器が傷つく原因となります。

ガススプリング取り扱いに関する注意事項

ガススプリングの取り扱いにおいては、以下の注意事項を遵守くださいますようお願いいたします。

1. 取り扱い上の注意事項



注意

- ⊘ 本ガススプリングは、摺動部への注油はしないでください。
注油するとシールの耐久性をなくし油漏れの原因となります。
- ⊘ 衝撃を加えることは絶対に避けてください。
油漏れ、作動不良、破損の原因になります。
- ⊘ 分解することは絶対に避けてください。
高圧ガスが封入されていますので、分解すると非常に危険です。
- ⊘ 曲げ方向の剛性が小さいので、曲げないでください。
取付の精度によっては曲げ荷重の負担によりロッドが曲がり、作動不良の原因となります。
- ⊘ ぶついたりしないでください。
ピストンロッド及びシリンダーに打痕を付けますと、シールの寿命を縮めたり、作動不良の原因になります。
- ⊘ 周囲の気温があまり高いまたは低い場所での使用はご注意ください。
- 20℃～50℃の範囲内でご使用ください。
- ⊘ 雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所での使用は避けてください。
作動不良の原因になります。
- ⊘ 側枠を無理に持ち上げ、ガススプリングを脚部から引き抜かないでください。
作動不良、破損の原因になります。

- 引張荷重がかかるとガススプリングは破損しますので、高い引張荷重がかからない様に使用してください。
- 故障が起きた場合は使用を中止し、お買い上げの楽器店へご連絡ください。

2. 廃却の方法



危険

廃却する際は、次の注意を守ってください。

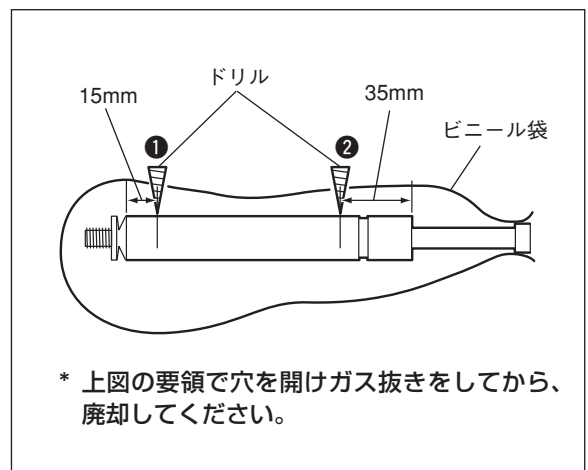
この製品は、窒素ガスが高圧で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

【禁止事項】

- ⊘ 押しつぶさない
- ⊘ 切断しない
- ⊘ 右図 ①、② 部以外の場所に穴をあけない
- ⊘ 火に入れない

【廃却手順】

1. ビニール袋をかぶせその上から2～3mmのドリルで①の穴をあけ、ガス・油を抜いたあと②の穴をあけてください。(必ず①、②の順を守ってください)
2. ビニール袋を使用しない場合は、油や切粉が飛び出しますので充分注意してください。(この場合はメガネをかけて作業してください)



* 上図の要領で穴を開けガス抜きをしてから、廃却してください。

このたびは、ヤマハコンサートマリimbaをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ヤマハでは、音色の美しさと演奏のしやすさに主眼をおいて研究を重ね、厳選した高級素材を用いて、このマリimbaをつくりあげました。伸びの良い深い響き、豊かな音量感など、きっとご満足いただけることと存じます。

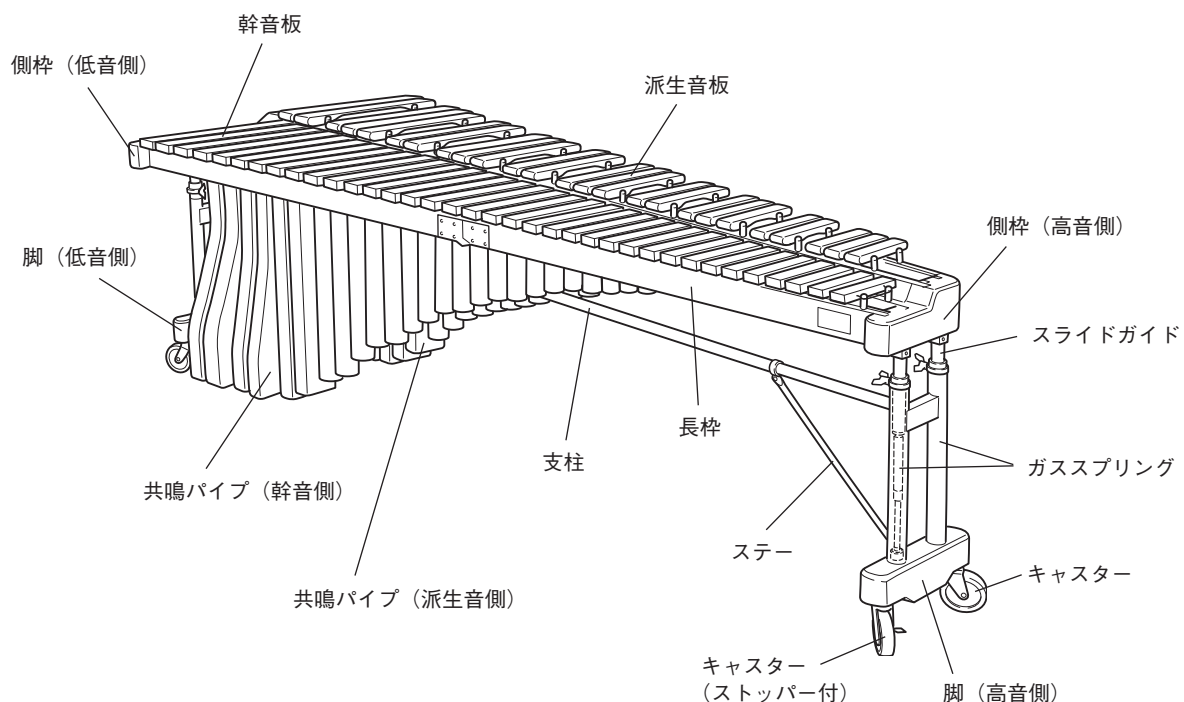
本書では、ヤマハコンサートマリimbaの正しい取り扱い方を説明しておりますので、ぜひご一読のうえ、未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

各部の名称

■YM-5104A/5100A/4900A/4600A

(イラストはYM-5100A)

・ 本文内の説明には、すべてYM-5100Aのイラストを使用しています。そのため、YM-5104A, YM-4900A, YM-4600Aとは、一部イラストが異なる個所があります。

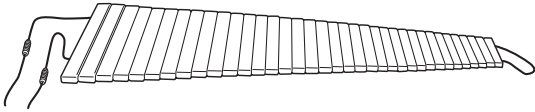


部品の確認

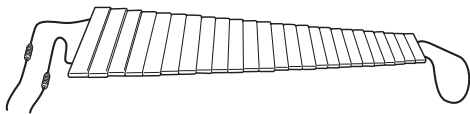
梱包箱の中には、以下の部品が入っています。
組み立ての前に、すべての部品がそろっていることを確認してください。

※ 部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

① 幹音板

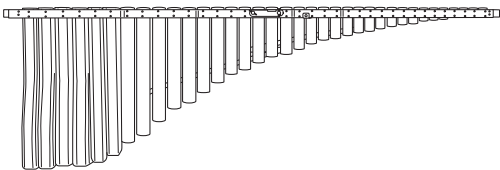


② 派生音板



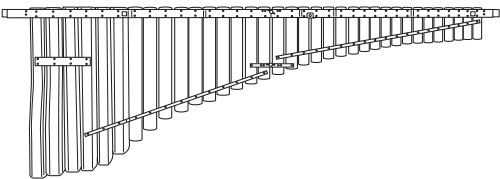
③ 共鳴パイプ (幹音側)

レゾナンスレギュレーター：G23, A25
(YM-5104A/5100A/4900A のみ)

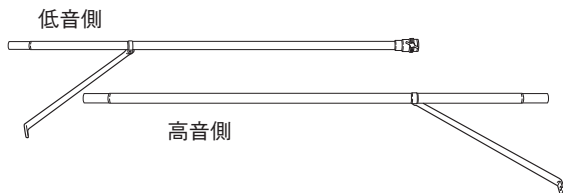


④ 共鳴パイプ (派生音側)

レゾナンスレギュレーター：F#22, G#24, A#26
(YM-5104A/5100A/4900A のみ)

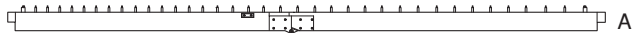


⑤ 支柱



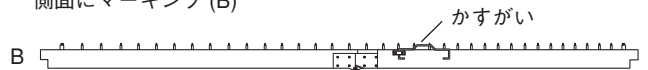
⑥ 長枠 (1)

側面にマーキング (A)



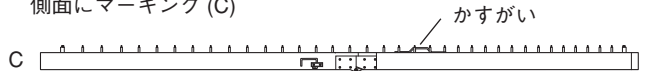
⑦ 長枠 (2)

側面にマーキング (B)



⑧ 長枠 (3)

側面にマーキング (C)

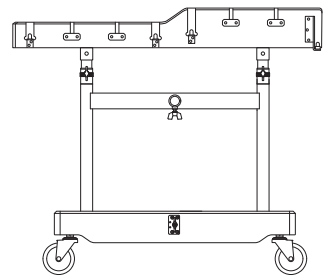


⑨ 長枠 (4)

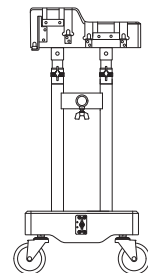
側面にマーキング (D)



⑩ 脚 (低音側)



⑪ 脚 (高音側)



組立手順

安全のために、組み立ては2人以上で、十分スペースのある場所で行なってください。
床にじゅうたんや柔らかい布などを敷いておくとよいでしょう。

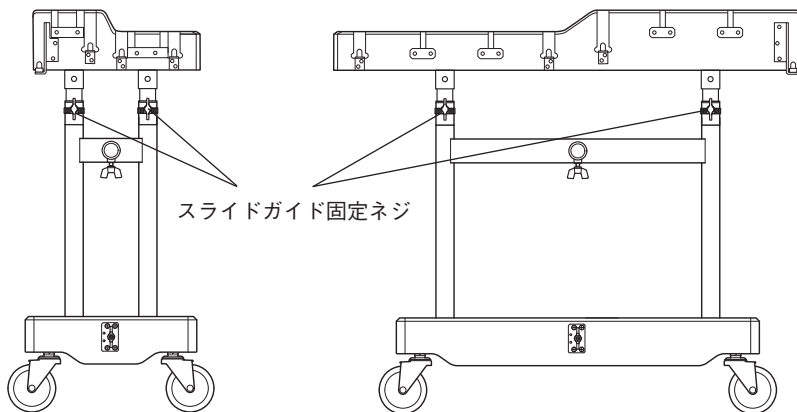
1 脚（低音側）と脚（高音側）を、支柱でつなぎます。

※ 両脚（低音側、高音側）ともに、スライドガイド固定ネジがしっかりと固定されていることを確認してから以下の作業を行なってください。

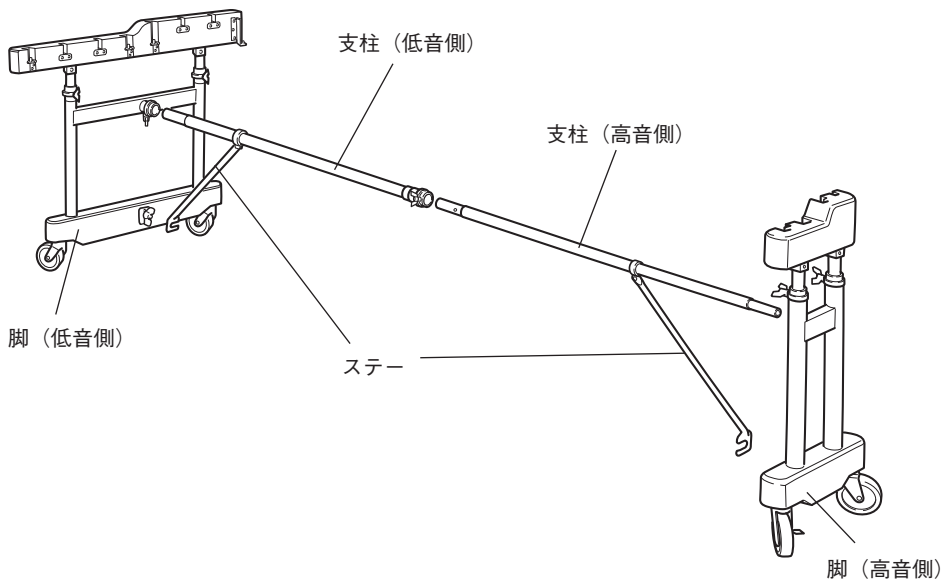


注意

この状態でスライドガイド固定ネジを緩めないでください。
側枠が突然上昇し大変危険です。

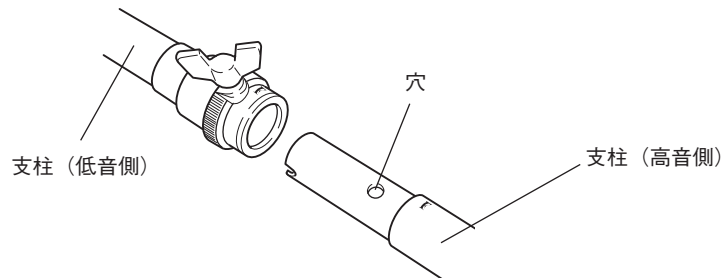


1-1 組み立てたときに下図の位置関係になるように、脚（低音側）、脚（高音側）、支柱を配置します。



組立手順

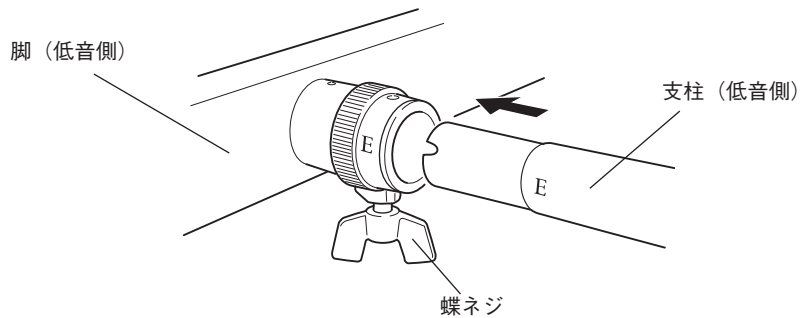
- 1-2 支柱を中央部で連結します。蝶ネジの先端と支柱のネジ穴を合わせ、蝶ネジを締め付けて固定します。



- 1-3 脚（低音側）に支柱を取り付けます。

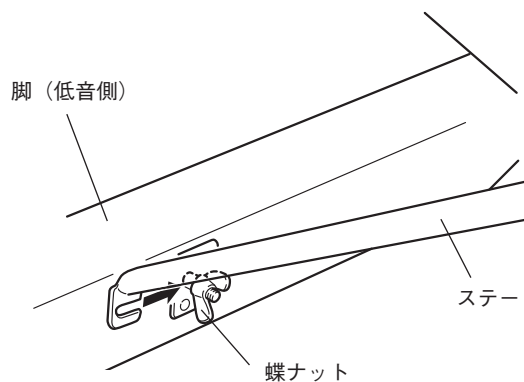
支柱の“E”の文字が印字されている側の端を、脚の低音側接続部（“E”文字あり）に、止まるまで差し込み（ステーを下向きにし）、蝶ネジを締め付けて固定します。

脚（高音側）も同様にして、支柱と接続します。（高音側接続部には文字はありません）



- 1-4 左右の脚が垂直になっていることを確認した後、両脚の下部の蝶ナットにステーの先端を挟み込み、しっかりと締め付けます。

※ ステーの先端は、しっかりととはめ込んでください。



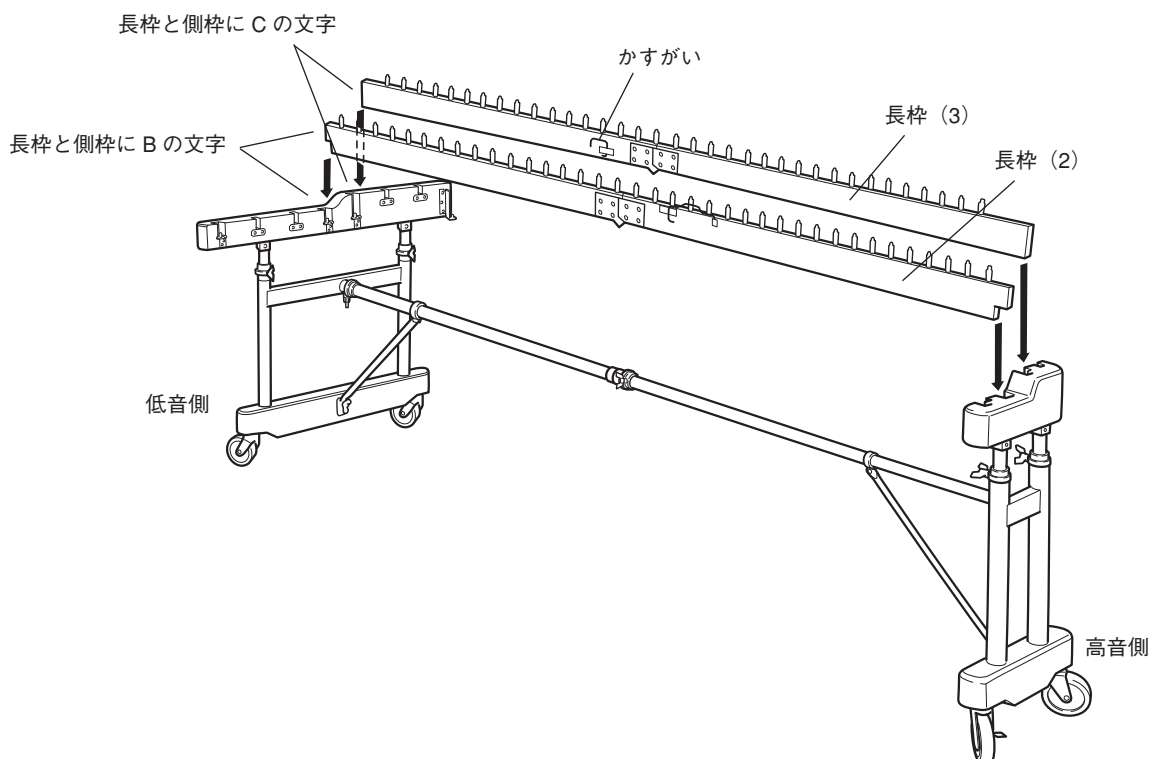
2 長枠 (2) , (3) を側枠にはめ込みます。

2-1 まず長枠 (2) をはめ込みます。

長枠 (2) の低音側木口面および、低音側側枠の溝部には「**B**」の文字が印字されています。

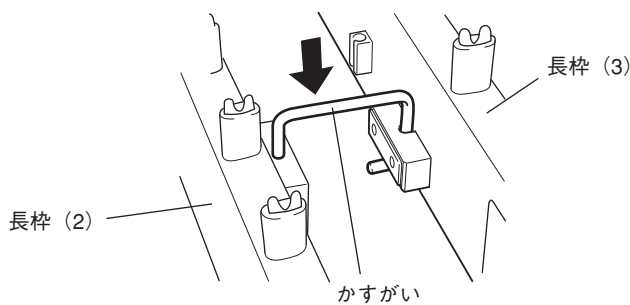
※ 片側だけを先に入れずに、左右少しずつ入れていって、完全に下まで（止まるまで）押し込んでください。

続いて長枠 (3) も同様にしっかりとのはめ込みます。長枠 (3) の低音側木口面および、低音側側枠の溝部には「**C**」の文字が印字されています。



2-2 長枠 (3) の中央部に付いている短いかすがいを長枠 (2) に掛けます。

※ ツメから外し、一度持ち上げてから長枠に掛け、下まで押し込んでください。



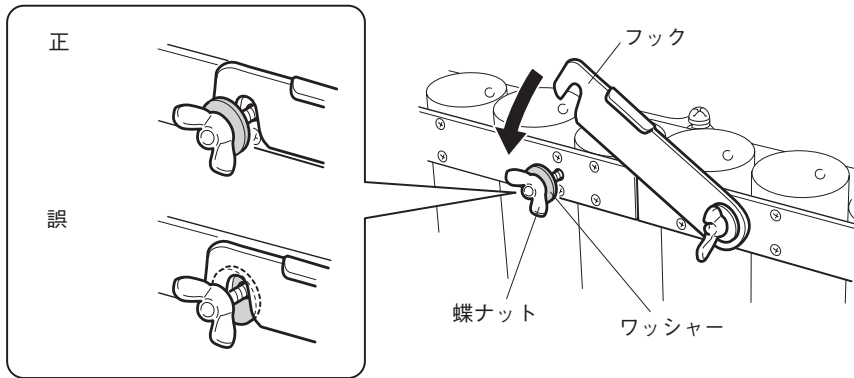
3 共鳴パイプを取り付けます。

3-1 二つ折りにになっている共鳴パイプを伸ばし、フックをかけ、蝶ナットを締めて固定します。共鳴パイプを組み立てる際、下図のようにワッシャーがフックの外側になるようにして取り付けてください。

※ ワッシャーがフックの内側にあると、演奏時の雑音などの原因となります。

※ 幹音用共鳴パイプは、すべてのパイプに底が付いています。

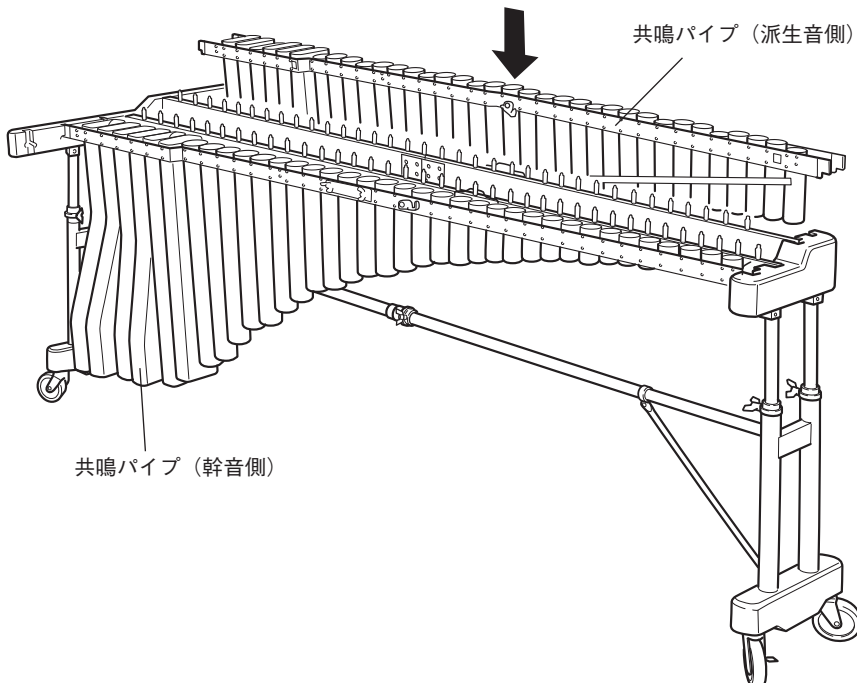
※ 共鳴パイプを組み立てるときに、パイプに傷を付けないように、気を付けてください。



3-2 共鳴パイプを、長枠と同じ要領で側枠のパイプ受けにはめ込みます。

※ 幹音用・派生音用を間違えずに取り付けてください。

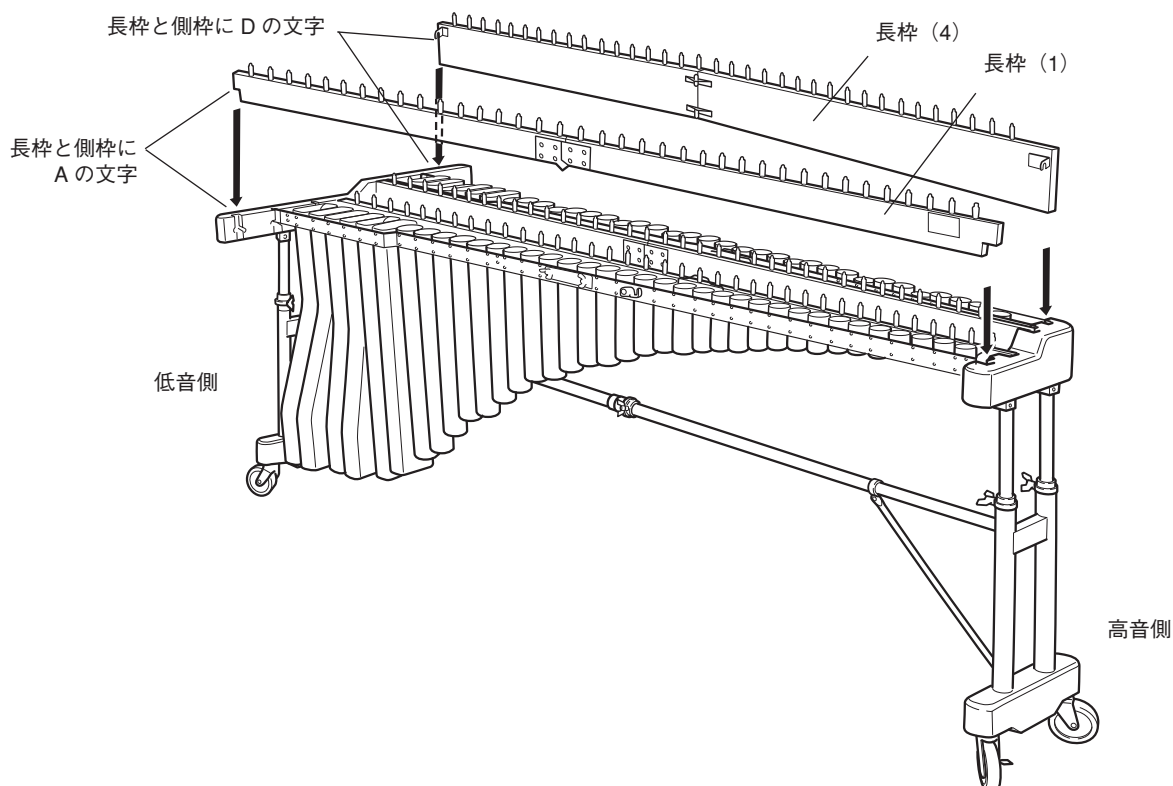
※ 共鳴パイプを脚などに当たらないように注意してください。



4 長棒 (1), (4) を側棒にはめ込みます。

4-1 外側の長棒 (1)、(4) を内側の長棒 (2)、(3) と同じ要領ではめ込みます。

長棒 (1) の低音側木口面および、低音側側棒の溝部には“**A**”の文字が、長棒 (4) の低音側木口面および、低音側側棒の溝部には“**D**”の文字が印字されています。



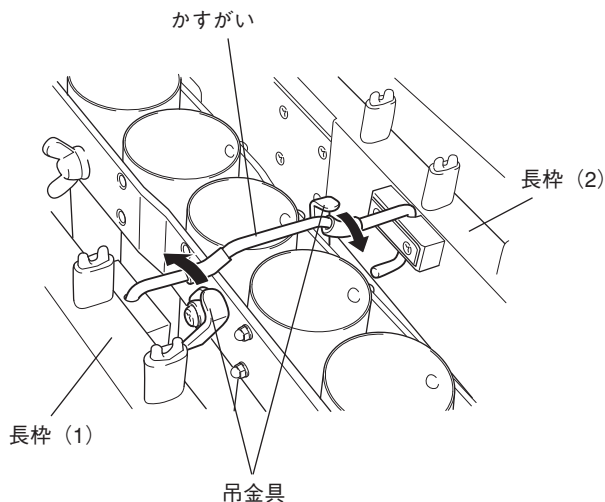
4-2 長棒 (2)、(3) に付いているかすがいを、長棒 (1)、(4) にはめ込みます。

YM-5104A/5100A のみ

4-3 共鳴パイプに付いている吊金具を、4-2 ではめ込んだかすがいに掛けて固定します。

※ 幹音側、派生音側それぞれ 2ヶ所、吊金具があります。

※ 吊金具は、最後までしっかりとめ込んでください。



5 音板をセットします。

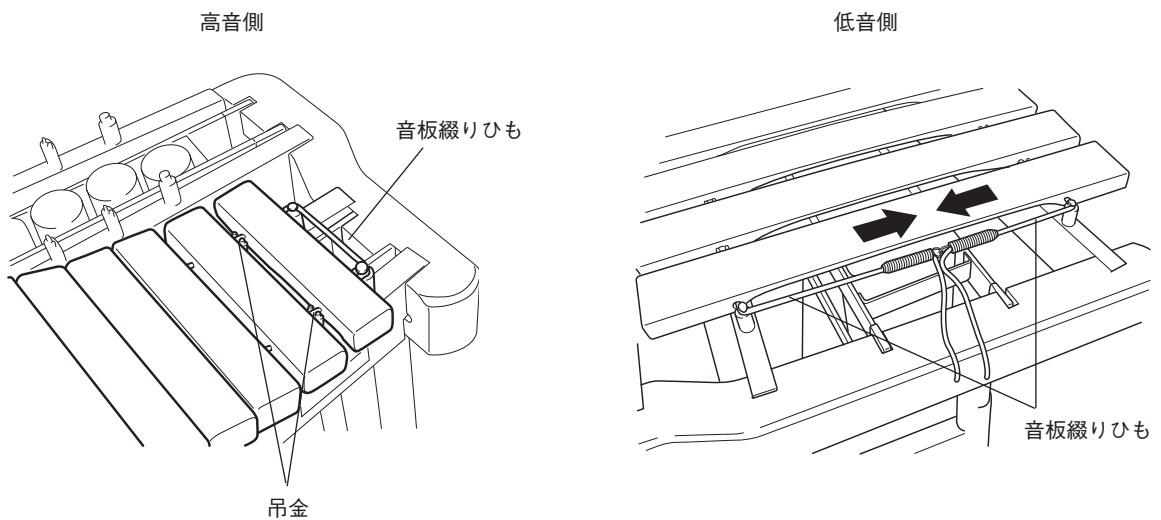
5-1 音板のセットは幹音板から行ないます。

まず2人でそれぞれ低音側、高音側の音板綴りひもを両手でしっかりと持ち、音板を長枠に静かにのせます。

音板の位置をひとつずつ合わせ、ひもを吊金に掛けていきます。

ひもがすべて吊金に掛かっていることを確かめたら、低音側で左右のひもを手前に強く引きながらバネどうしを掛けて固定します。

※ 音板を傷付けないよう気を付けてください。

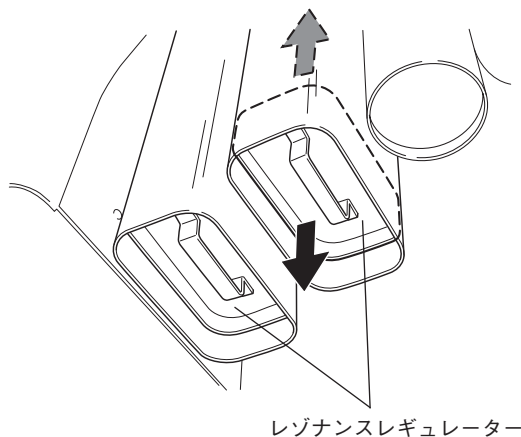


YM-5104A/5100A/4900A のみ

5-2 共鳴パイプのF#22, G23, G#24, A25, A#26 底にはレゾナンスレギュレーターが付いています。

音板をたたきながらレゾナンスレギュレーターを上下に動かし、一番響きがいい場所で固定します。

※ レゾナンスレギュレーターを固定するときに、レゾナンスレギュレーターが斜めにならないよう注意してください。

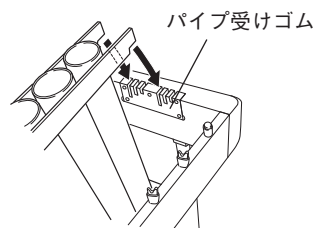
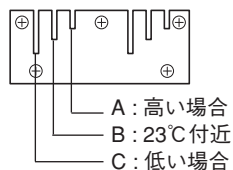


YM-4600A のみ

5-2 YM-4600A の共鳴パイプにはレゾナンスレギュレーターが付いていません。以下の説明に従って、室温に応じたパイプ受けゴムの溝へ共鳴パイプをセットしてください。

共鳴パイプは温度 23℃ のときに最もよく共鳴するように調整されています。使用時の温度が 23℃ より高かったり低かったりして共鳴が悪い場合は、パイプをセットする溝を移動（温度が高い場合は浅い溝へ、低い場合は深い溝へ）してください。

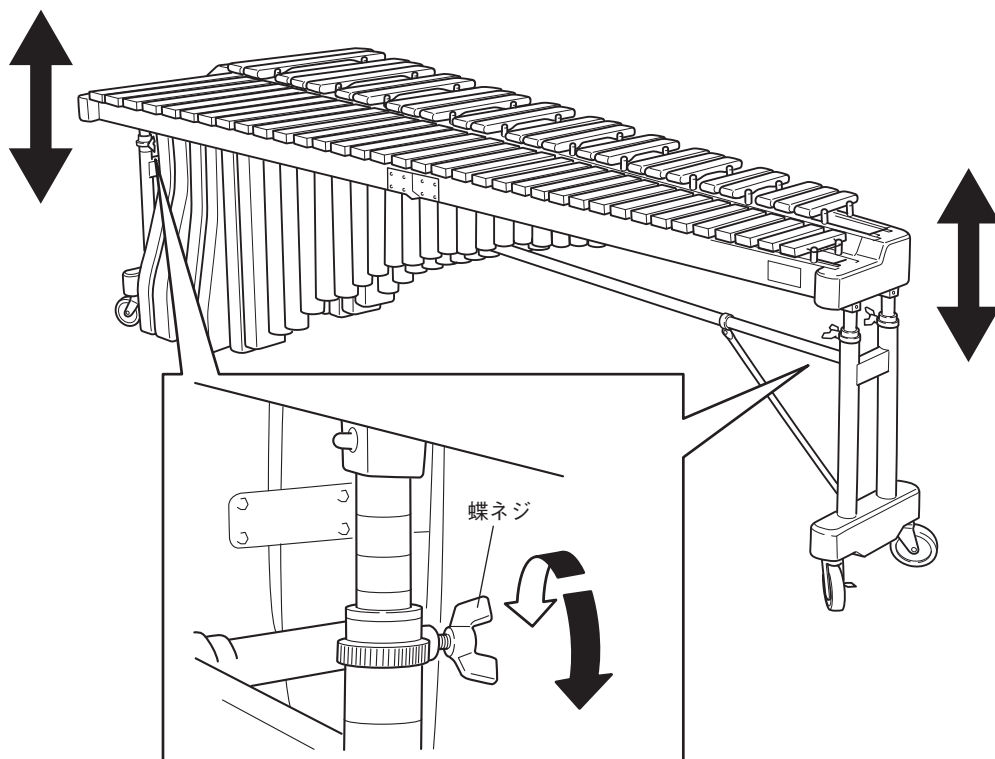
温度	使用する溝
高い場合	一番浅い溝（右図 A）
23℃ 付近	中央の溝（右図 B）
低い場合	一番深い溝（右図 C）



6 音板高さの調整

低音側・高音側ともに側枠を手で支えながら、スライドガイドを固定している蝶ネジを緩めます。希望する高さに合わせたら、蝶ネジを締めて固定します。スライドガイドの線を目安にして、音板が床面と平行になるように調節してください。

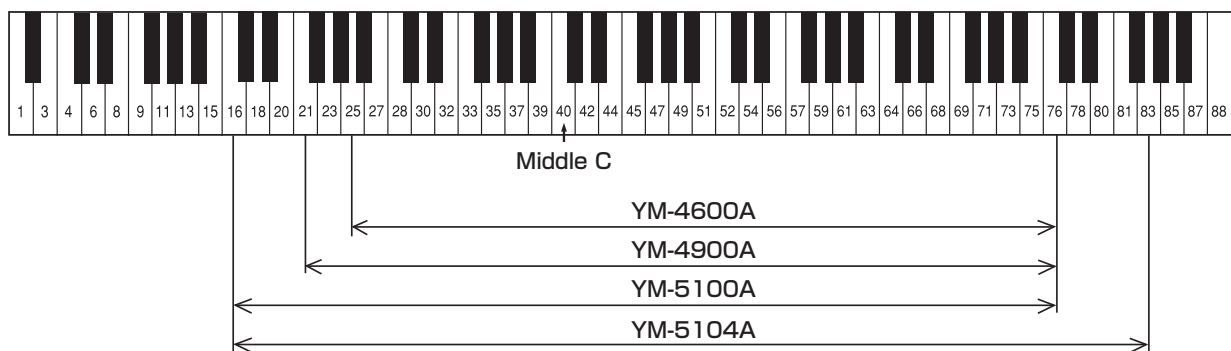
すべてが組み上がったら、各部のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。



仕様 / 音域表

	YM-5104A	YM-5100A	YM-4900A	YM-4600A
音域	C16～G83 (5-1/2 オクターブ)	C16～C76 (5 オクターブ)	F21～C76 (4-1/2 オクターブ)	A25～C76 (4-1/3 オクターブ)
音板材	ローズウッド			
音板幅	72～41mm	72～41mm	65～41mm	65～41mm
音板厚さ	24～20mm			
共鳴パイプ	ヘルムホルツ 長円低音レゾネーター	ヘルムホルツ 長円低音レゾネーター	ヘルムホルツ 長円低音レゾネーター	真円レゾネーター
高さ調節	ガススプリング方式 15cm (86～101cm)	ガススプリング方式 15cm (86～101cm)	ガススプリング方式 15cm (86～101cm)	ガススプリング方式 15cm (86～101cm)
キャスター	径 100mm	径 100mm	径 100mm	径 100mm
寸法 間口 × 奥行	281×103cm	261×103cm	235×96cm	219×91cm
質量	99kg	96kg	78kg	68kg

● ピアノの鍵盤との比較



※ 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。
最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

사양 / 피아노 건반과의 비교

■ YM-5104A

- 음역 : C16 – G83 (5-1/2 옥타브)
- 음조 바 : 로즈우드 (Rosewood)
- 음조 바 크기 :
72 – 41 mm 폭
24 – 20 mm 두께
- 공명파이프 : 헬름홀츠 (Helmholtz), 타원 저음 공명기
- 높이 조정 :
가스 스프링 시스템
15 cm (86 – 101 cm)
- 치수 (W x D): 281 x 103 cm
- 중량 : 99 kg

■ YM-5100A

- 음역 : C16 – C76 (5 옥타브)
- 음조 바 : 로즈우드 (Rosewood)
- 음조 바 크기 :
72 – 41 mm 폭
24 – 20 mm 두께
- 공명파이프 : 헬름홀츠 (Helmholtz), 타원 저음 공명기
- 높이 조정 :
가스 스프링 시스템
15 cm (86 – 101 cm)
- 치수 (W x D): 261 x 103 cm
- 중량 : 96 kg

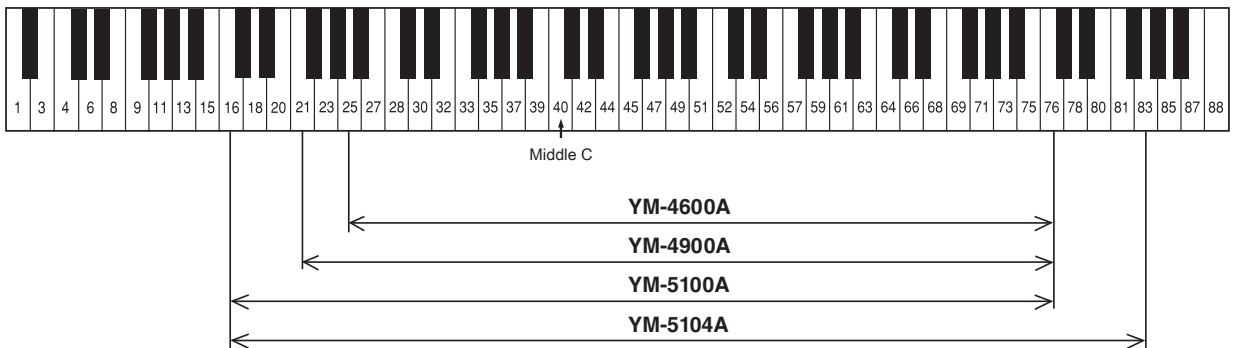
■ YM-4900A

- 음역 : F21 – C76 (4-1/2 옥타브)
- 음조 바 : 로즈우드 (Rosewood)
- 음조 바 크기 :
65 – 41 mm 폭
24 – 20 mm 두께
- 공명파이프 : 헬름홀츠 (Helmholtz), 타원 저음 공명기
- 높이 조정 :
가스 스프링 시스템
15 cm (86 – 101 cm)
- 치수 (W x D): 235 x 96 cm
- 중량 : 78 kg

■ YM-4600A

- 음역 : A25 – C76 (4-1/3 옥타브)
- 음조 바 : 로즈우드 (Rosewood)
- 음조 바 크기 :
65 – 41 mm 폭
24 – 20 mm 두께
- 공명파이프 : 원형 공명기
- 높이 조정 :
가스 스프링 시스템
15 cm (86 – 101 cm)
- 치수 (W x D): 219 x 91 cm
- 중량 : 68 kg

● 피아노 건반과의 비교



* 본 설명서의 내용은 발행일 현재 최신 사양을 기준으로 하고 있습니다. 최신 설명서를 가져오려면 Yamaha 웹사이트에 접속 후 해당 설명서 파일을 다운로드 받으십시오. 제품 사양, 장비 또는 별도로 판매되는 선택 품목은 지역에 따라 변경될 수 있으므로, 해당 지역의 Yamaha 구입처에 문의하시기 바랍니다.